

PRESS INFORMATION

2014年4月13日

株式会社日本レースプロモーション

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ

第1戦鈴鹿サーキット大会決勝結果速報

ロイック・デュバル(キグナス スノコ チーム ルマン)開幕戦を制す!

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラ第1戦鈴鹿サーキット大会の決勝レースが、三重県鈴鹿サーキット国際レーシングコースで開催され、7番グリッドからスタートしたロイック・デュバル(キグナス スノコ チーム ルマン)が、1周5.807kmのコースを43周、トータル249.70kmを1時間15分49秒802(平均時速197.57km/h)で制し、今季初のウィナーとなった。

2位には今季からシリーズフル参戦となったジェームス・ロシター(コンドーレーシング)が1時間16分06秒023で続き、初戦をポディウムフィニッシュで飾った。

また3位はシリーズ復活組の石浦宏明(プロミュー/セルモ・インギング)で、1時間16分11秒927だった。

※記録の詳細は、別添付公式通知「決勝正式結果表」をご参照ください。



ロイック・デュバル(キグナス スノコ チーム ルマン)

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第1戦 エントリーリスト

(シャシーン:SF14, タイヤ:ブリヂストン)

No.	ドライバー	誕生日 出身地	エンタラント名 監督	車両名	エンジン
1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988.7.11 日本 栃木県	TEAM 無限 (チームムゲン) 手塚 長孝	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E
2	中山 友貴 Yuhki Nakayama	1987.7.29 日本 石川県	KONDO RACING (コンドレーシング) 近藤 真彦	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983.8.25 イギリス	KYGNUS SUNOCO Team LeMans (キグナススノコチームルマン)	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A
7	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994.3.7 日本 広島県	HP REAL RACING (エイチリアルレーシング) 金石 勝智	HP SF14	Honda HR-414E
8	ロイク・デュバル Loic Duval	1982.6.12 フランス	KCMG (ケーシーエムジー) 土居 隆二	HP SF14	TOYOTA R14A
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986.11.20 日本 栃木県	Lenovo TEAM IMPUL (レノボチームインパル) 星野 一義	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A
11	ヴィタントニオ・リウッツィ Vitantonio Liuzzi	1981.8.6 イタリア	Lenovo TEAM IMPUL (レノボチームインパル) 星野 一義	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991.7.25 日本 東京都	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング) 中嶋 悟	NR SF14	Honda HR-414E
19	ジョão・バオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981.7.13 ブラジル	PETRONAS TEAM TOM'S (ペトロナス・チーム・トムス) 館 信秀	NR SF14	TOYOTA R14A
20	クマール・ラム・ナレイン・カーティケヤン Kumar Ram Narain Karthikeyan	1977.1.14 インド	P.M.U / CERUMO・INGING (プロミュー/セルモ・インギング) 立川 祐路	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A
31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989.1.29 日本 愛知県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンデルイアンレーシング) 村岡 潔	PETRONAS TOM'S SF14	Honda HR-414E
32	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980.8.1 日本 群馬県	TOCHIGI Le Beausset Motorsports (トチギル・ボーセータースポーツ) 坪松 唯夫	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A
36	アンドレ・ロツテラー Andre Lotterer	1981.11.19 ドイツ			
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985.1.11 日本 愛知県			
38	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981.4.23 日本 東京都			
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990.9.12 日本 神奈川県			
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989.9.15 日本 茨城県			
41	武藤 英紀 Hideki Mutoh	1982.10.6 日本 東京都			
62	嵯峨 宏紀 Koki Saga	1983.4.25 日本 愛知県			

第1戦終了時点

ドライバーズ・ポイントランキング

Pos	No.	Driver	Pts	Gap	4/12	5/17		7/12	8/23	9/13	9/27	11/8	
					SUZUKA	FUJI		FUJI	MOTEGI	AUTOPOLIS	SUGO	SUZUKA	
					Rd.1	Rd.2-1	Rd.2-2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7-1	Rd.7-2
1	8	ロイック・デュバル	10		10								
2	3	ジェームス・ロシター	8	-2	8								
3	38	石浦宏明	6	-4	6								
4	7	平川 亮	5	-5	5								
5	36	アンドレ・ロツテラー	5	-5	5								
6	37	中嶋一貴	3	-7	3								
7	19	J.P.デ・オリベイラ	2	-8	2								
8	11	ヴィタントニオ・リウッツィ	1	-9	1								
9	40	野尻智紀		-10	-								
10	41	武藤英紀		-10	-								
11	1	山本尚貴		-10	-								
12	2	中山友貴		-10	-								
13	39	国本雄資		-10	-								
14	10	塚越広大		-10	-								
	31	中嶋大祐			-								
	32	小暮卓史			-								
	20	クマール・ラム・ナレイン・カーティケヤン			-								
	62	嵯峨宏紀			-								
	18	中山雄一			-								

※斜体は優勝、太字はP.P.

チーム・ポイントランキング

Pos	No.	Team	Pts	Gap	4/12	5/17		7/12	8/23	9/13	9/27	11/8	
					SUZUKA	FUJI		FUJI	MOTEGI	AUTOPOLIS	SUGO	SUZUKA	
					Rd.1	Rd.2-1	Rd.2-2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7-1	Rd.7-2
1	7, 8	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	15		15								
2	3	KONDO RACING	8	-7	8								
3	36, 37	PETRONAS TEAM TOM'S	7	-8	7								
4	38, 39	P.MU / CERUMO・INGING	6	-9	6								
5	19, 20	Lenovo TEAM IMPUL	2	-13	2								
6	10, 11	HP REAL RACING	1	-14	1								
7	40, 41	DOCOMO TEAM DANDELION RACING		-15	-								
8	1, 2	TEAM 無限		-15	-								
	31, 32	NAKAJIMA RACING			-								
	62	TOCHIGI Le Beausset Motorsports			-								
	18	KCMG			-								

※斜体は優勝、P.P.ポイントはドライバーズのみ

2014年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	PP
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

※ PP: ポールポジション(予選1位)には1ポイント付与される(ドライバーポイントのみでチームポイントには加算されない)。

※ 1大会2レース制の場合、第1・第2レース共に1レース制の得点の半分が与えられる。

※ Rd.7鈴鹿大会に限り、第1・第2レースの勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられ、ポールポジション&2連勝で最大18ポイントを獲得できる。

※ 最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチームが同一のポイントを得た場合、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

【ご参考】

1. スーパーフォーミュラ

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レース。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートによりフォーミュラ・ニッポンとして1996年にスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更した。

2. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションより賞金と、シリーズドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付される。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与される。

3. レース車両

シャシーはダラーラ社(イタリア)製のSF14。エンジンはホンダとトヨタが供給する、排気量2,000cc、直列4気筒ダイレクトインジェクション、Honda HR-414EまたはTOYOTA RI4Aを使用する。タイヤはすべてブリヂストン製のワンメイク。

4. オーバーテイクシステム(OTS)

新エンジンに採用される燃料リストラクター(燃料流量規制システム)を活用し、燃料供給量を上げて1回につき約5パーセントのエンジン性能アップをもたらすことで、オーバーテイクを促すシステム。ステアリングにあるボタンを押下することでアクティブとなり、1回のレースにつき原則5回、各20秒間使用可能となる。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できる。またポイントリーダードライバーは、赤色オーバーテイクランプ(リーダーズレッド)を装着している。OTLは、スーパーフォーミュラ独自の仕組み。

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド/開催地	予選方式	決勝レース方式
4/12~13	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250km
5/17~18	第2戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	2レース制
7/12~13	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250km
8/23~24	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250km
9/13~14	第5戦/オートポリス	ノックアウト	220km
9/27~28	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250km
11/8~9	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

大会概要

- 大会名称： 鈴鹿2&4レース
2014年 全日本選手権スーパーフォーミュラ 第1戦 鈴鹿サーキット
2014年 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦
- 同日開催： 2014年 全日本フォーミュラ3選手権 第1戦&第2戦
Honda Sports & Eco Program CR-Z 10リッターチャレンジ
Enjoy Honda 鈴鹿 2014
- 主催：(4輪)グループ・オブ・スピードスポーツ(GSS)／鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)／株式会社モビリティランド
(2輪)一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)／株式会社モビリティランド
- 公認：(4輪)国際自動車連盟(FIA)／一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
(2輪)国際モーターサイクリズム連盟(FIM)／一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)
- 認定：(4輪)株式会社日本レースプロモーション(JRP)／日本フォーミュラスリー協会(JF3A)
- 後援：文部科学省／観光庁／三重県／鈴鹿市／鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
／一般社団法人鈴鹿市観光協会／鈴鹿商工会議所／東京中日スポーツ／中日スポーツ／中日新聞社

チケット購入／お問い合わせ

- 前売観戦券(2日間有効) *4月11日(金)も入場可
大人 ¥4,000(ゆうえんちモートピアパスポート1日付き)
中・高校生 ¥1,700(入場のみ)
*観戦情報、チケットなどの詳細は、鈴鹿サーキットホームページ(<http://www.suzukacircuit.jp/>)をご参照ください。

TV放映／映像配信予定

- J SPORTS
放映時間： 4月12日(土) 13:30～15:30 [予選ライブ中継：J SPORTS 2]
4月13日(日) 14:30～17:30 [決勝ライブ中継：J SPORTS 3]
*再放送、ダイジェスト番組については、SFオフィシャルウェブサイト(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。
- BSフジ『スーパーフォーミュラ2014』
大会ごとに55分間の特別番組を放送。
放映時間： 本放送 4月19日(土) 11:00～11:55 再放送 4月26日(土) 12:00～12:55
- フジテレビONE／NEXT(フジテレビCS)『スーパーフォーミュラTV』
各レースのハイライト映像と現役参戦ドライバーをスタジオに迎えてのトークで構成された特別番組。
放映時間： 本放送 4月18日(金) 22:30～23:00 フジテレビNEXT
再放送 4月26日(土) 11:30～12:00 フジテレビONE
※インターネット有料チャンネル「フジテレビNEXTsmart」でも同時配信。
- Yahoo! GyaO!
大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンド(<http://gyao.yahoo.co.jp/>)にて配信。
- YouTube
予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて配信(<http://www.youtube.com/>)。

※放送日、時間は予告なく変更される場合がありますので、SFオフィシャルウェブサイト(<http://www.superformula.net/>)でご確認ください。

* この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社日本レースプロモーション(<http://www.superformula.net/>)
102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル
e-mail: media@superformula.net
Tel: 03-3237-0131 Fax: 03-3237-0135
担当: 遠藤 清人 携帯電話: 090-3401-8112 e-mail: media@jrp-inc.jp